

令和4年度障害者実態調査について

1 目的

令和5年度に策定を予定している、障害者計画（令和6～11年度）、第7期江東区障害福祉計画及び第3期江東区障害児福祉計画（令和6～8年度）の基礎資料とするとともに、今後の施策のあり方を検討する。

2 調査対象

障害者(18歳以上)	4,000人
身体障害	1,100人
知的障害	1,000人
精神障害	1,000人
重症心身障害	100人
高次脳機能障害	100人
難病	700人
障害児(18歳未満)	1,000人
サービス提供事業者	250箇所
障害者団体	40団体

3 調査実施時期 令和4年10月～11月（予定）

4 調査結果報告 令和5年3月（予定）

5 調査内容

障害者の生活実態、障害福祉サービス等の利用状況や利用に関する意向などに関する項目を中心とする。

6 調査方法

- (1) 障害種別に基づく無作為抽出による郵送調査（自記入式。ただし、家族等による代理回答も可とする）。
- (2) 高次脳機能障害については、無作為抽出が難しいため、関係団体などを通じて調査票を配布し、郵送回収する。
- (3) 障害者団体には、調査票に加え、ヒアリングを実施する。

7 実施スケジュール

令和4年4～6月	実態調査受託事業者公募、事業者決定
7～8月	計画等推進協議会・地域自立支援協議会へ、調査票(案)を提示
8～10月	調査票印刷・点字版調査票作成、発送準備
10月～11月	調査票発送～調査票回収 団体ヒアリング
12月	計画等推進協議会へ集計中間報告
令和5年1～2月	計画等推進協議会、地域自立支援協議会へ、調査結果報告(案)を提示 (報告書印刷製本)
3月	調査結果報告書完成
4月以降	障害者計画(令和6～11年度)、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画(令和6～8年度)策定作業

※ 国の動向等により、変更が生じる可能性もあります。

令和4年度江東区地域生活に関する調査（江東区障害者実態調査）実施スケジュール

令和4年8月3日
江東区 障害者施策課

区分		令和4年						令和5年											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
アンケートの実施	調査項目の検討、調査票の作成	■	■	■															
	点字版調査票の作成				■	■													
	調査票の印刷・封入・発送				■	■													
	調査の実施、問い合わせ対応					■	■	■											
	集計・分析							■	■	■	■								
ヒアリングの実施	実施準備	■	■	■	■	■	■												
	調査の実施								■	■									
	結果のとりまとめ・分析									■	■								
報告書の作成	報告書本編の作成											■	■	■	■	■	■	■	■
	概要版の作成															■	■	■	■
	点字版の作成															■	■	■	■
	音声版（デイジー版）の作成															■	■	■	■
会議名		令和4年						令和5年											
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
計画等推進協議会			■								■				■				
		・調査票案の検討			・調査の中間報告			・調査の最終報告											
自立支援協議会			■												■				
		・調査項目の検討			・調査の最終報告														

令和4年度 江東区 地域生活に関する調査

このアンケート調査は、皆様の生活実態やどのような福祉サービスを利用したいかを把握し、令和5年度に予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」策定の基礎資料とするために、実施するものです。

この調査票は、江東区にお住まいで18歳以上の障害のある方の中から無作為に抽出して、お送りさせていただきました。

《ご回答にあたってのお願い》

- (1) 回答は、各設問の選択肢の中から該当する番号・記号を選んで、○をつけてください。
- (2) 年齢や時間数などは、() 内に数字で記入してください。
- (3) 「その他」に○をつけた場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- (4) 回答できない設問には、答えなくて結構です。
- (5) ご本人様が入院中や施設に入所中、転居等で回答が難しい場合は、調査に回答する必要はありません。また、ご家族の方や介助されている方がご本人様に聞き取りをするなど、ご本人様の意思を尊重しながら代理で回答していただいてもかまいません。

この調査は、前回は令和元年度に実施しています。

調査結果報告書については、江東区内の図書館の他、江東区ホームページでも、ご覧になることができます。

《調査票のご提出について》

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒で、**令和4年●月●日(●)まで**にご返送願います。

差出人さまのお名前を記入する必要はありませんので、誰がどのような回答をしたかは、わからないようになっています。

お手数をおかけしますが、このアンケート調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

《調査委託先（調査票の内容に関するお問い合わせ先）》

「江東区地域生活に関する調査」事務局

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：松本、田中

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL: 0120-●●●-●●●● (フリーダイヤル)

委託元：江東区 福祉部 障害者施策課 施策推進係

〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28

TEL:03-3647-4749 FAX:03-3699-0329

1 ご本人の状況

問1 あなた（ご本人）の年齢は、何歳ですか？令和4年10月1日現在の年齢を記入してください。

() 歳

問2 あなた（ご本人）の障害について、おききします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 身体障害（ア～エにも○をつけてください）

（ア）肢体不自由

（イ）聴覚・音声・言語機能障害

（ウ）視覚障害

（エ）内部障害

2 知的障害

3 精神障害

4 難病

5 発達障害

6 高次脳機能障害

→問2-1 問2で4に○をつけた方にかがいます。

あなた（ご本人）が、難病の診断を受けたのは、何歳頃ですか？年齢を記入してください。

() 歳

→問2-2へ

問6 あなた（ご本人）は、日常生活の中で介助や支援が必要ですか？また、どのようなことに介助などが必要ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。ただし、以下の「2～9」までのすべてで介助・支援が必要な場合、「1」だけに○をつけてください。

- 1 日常生活全般に介助・支援が必要
- 2 食事に介助・支援が必要（小さく切って食べやすくする、口まで運ぶなど）
- 3 家事（調理、洗濯、掃除）に介助・支援が必要（献立を考える、洗濯物を干す、部屋を片付けるなども含む）
- 4 入浴に介助・支援が必要（身体を洗う、浴槽への出入り、身体や髪を拭く）
- 5 排せつ（トイレの使用）に介助・支援が必要（時間で誘導、便座に座る、排便の後始末など）
- 6 家の中での移動・移乗に介助・支援が必要
- 7 外出に介助・支援が必要（歩行の介助、道に迷わないよう誘導、乗り物の利用など）
- 8 お金の管理に介助・支援が必要（所持金の把握、金融機関での出金・入金など）
- 9 薬の管理に介助・支援が必要（薬の用意、服用したかどうかの確認を含む）
- 10 その他（ ）
- 11 特に介助・支援を必要としない

問7 あなた（ご本人）は、定期的（月に1回以上）に病院へ通院をしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 江東区内の病院に通院している
- 2 江東区外の病院に通院している
- 3 定期的には通院していない

問8 あなた（ご本人）は、日常生活の中で、医療的なケア（在宅における医療的な支援）を受けていますか？受けている場合はどのような医療的なケアを受けていますか？あてはまるものすべてに○を記入してください。

- 1 受けている
 - (ア) 経管栄養（経鼻栄養、胃ろう、腸ろう）
 - (イ) 吸引（口・鼻腔内、気管内）
 - (ウ) 酸素吸入
 - (エ) 気管切開部の管理（ガーゼ交換、消毒等）
 - (オ) 人工呼吸器の管理
 - (カ) 気管内挿管
 - (キ) 導尿
 - (ク) その他（ ）
- 2 受けていない

問9 あなた（ご本人）は、ホームヘルプサービス（居宅介護、重度訪問介護等）を利用していますか？また、利用している場合、1週間あたりどのくらい利用していますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 利用している
（ア）5時間以内 （イ）6～10時間 （ウ）11～15時間 （エ）16～20時間
（オ）21～30時間 （カ）31～50時間 （キ）51～70時間 （ク）71時間以上
2 利用していない ⇒問11ハ

問10 ホームヘルプサービスは、現在の利用時間数で足りていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。また、足りていないを選んだ方は、何らかの対応としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 足りている
2 足りていない
（ア）家族に協力をしてもらっている （イ）ボランティアに協力をしてもらっている
（ウ）自費で対応している （エ）その他（ ）

2 仕事や学校生活

問11 あなた（ご本人）は、普段（休日以外）は、どのように過ごしていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 会社などで正社員として働いている（産休・育休中なども含む） ⇒問12ハ
2 アルバイト・契約社員などで働いている ⇒問12ハ
3 自宅で働いている（自営業、家業の手伝い、在宅就業など） ⇒問12ハ
4 自宅で、家事や育児に専念している ⇒問13ハ
5 就労移行支援事業所に通っている ⇒問14ハ
6 就労継続支援（A型）事業所に通っている ⇒問14ハ
7 就労継続支援（B型）事業所に通っている ⇒問14ハ
8 生活介護事業所（福祉園など）に通っている ⇒問14ハ
9 特別支援学校（高等部含む）に通っている ⇒問15ハ
10 高校・大学・短期大学・専門学校に通っている ⇒問15ハ
11 職業訓練・就職活動・受験勉強をしている ⇒問15ハ
12 その他（ ） ⇒問13ハ
13 特に何もしていない⇒問16ハ

問 12 仕事をする上で困っていることはありますか？また、今後どのような希望がありますか？それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない |
| 2 | 上司や同僚、取引相手とのコミュニケーションの取り方が難しい |
| 3 | 職場のバリアフリー化が不十分である |
| 4 | 勤務時間（短時間勤務やシフト）などの配慮が不十分である |
| 5 | 通勤距離・時間、通勤時の混雑が負担に感じる |
| 6 | 定期的な通院や健康管理との両立が難しい |
| 7 | 職場に相談できる人がいない |
| 8 | 職場のことを相談する人や場所がない |
| 9 | その他（) |

<困っていること>

- | | | | |
|---|---------------------|---|----------|
| 1 | 今の仕事を続ける | 2 | 会社等に転職する |
| 3 | 自宅で働く（家業を継ぐ、在宅就業など） | 4 | その他（) |

⇒問 17 へ

問 13 現在困っていることはありますか？また、今後どのような希望がありますか？それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

- | | | | |
|---|---------------------|---|----------------|
| 1 | 相談する人がいない | 2 | 健康管理が難しい |
| 3 | 自分の希望や能力が活かしきれしていない | 4 | 自分に何が出来るかわからない |
| 5 | 普段活動する環境が悪い | 6 | 体力的に厳しい |
| 7 | その他（) | | |

<今後の希望>

- | | | | |
|---|--------------------------|---|---------------------|
| 1 | 今の状態を続ける | 2 | 会社等に就職する（在宅就業、起業含む） |
| 3 | 学校等に通う | | |
| 4 | 就労移行支援、就労継続（A、B型）の事業所に通う | | |
| 5 | 生活介護の事業所に通う | | |
| 6 | その他（) | | |

⇒問 17 へ

問 14 現在困っていることはありますか？また、今後どのような希望がありますか？それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

- | |
|-------------------------------|
| 1 仕事内容が、自分の能力や希望に合っていない |
| 2 指導員（支援員）とのコミュニケーションの取り方が難しい |
| 3 施設のバリアフリー化が不十分である |
| 4 勤務時間などの配慮が不十分である |
| 5 通所距離・時間、通所時の混雑が負担に感じる |
| 6 定期的な通院や健康管理との両立が難しい |
| 7 施設に相談できる人がいない |
| 8 施設のことを相談する人や場所がない |
| 9 その他（) |

<今後の希望>

- | |
|-------------------------|
| 1 会社に就職する（一般就労） |
| 2 自宅で働く（家業を継ぐ、在宅就業など） |
| 3 一般就労に向け、職場実習や職業訓練を受ける |
| 4 今通っている施設に引き続き通う |
| 5 今通っている施設をやめて、他の施設に通う |
| 6 その他（) |

⇒問 17 へ

問 15 学校などで、困っていることはありますか？また、学校（高校）卒業後は、どのような進路を希望していますか？それぞれもっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

<困っていること>

- | |
|-------------------------|
| 1 通学・通勤が、体力的につらい |
| 2 先生や友達、他の保護者に気をつかう |
| 3 学校やクラスメートや保護者の理解が足りない |
| 4 学習環境などが障害に対応していない |
| 5 その他（) |
| 6 特にない |

<卒業後の希望する進路>

- 1 会社等に就職する（一般就労）
- 2 自宅で働く（家業を継ぐ、在宅就業など）
- 3 自分の会社・店などを持つ（起業する）
- 4 進学する（大学・専門学校など）
- 5 就労移行支援の事業所に通う
- 6 就労継続支援（A型）の事業所に通う
- 7 就労継続支援（B型）の事業所に通う
- 8 生活介護の事業所に通う
- 9 入所施設へ入る
- 10 その他（)
- 11 まだ決めていない

⇒問 17 へ

問 17 障害（難病）のある方が仕事をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 働くうえでの技術や知識を身につけること
- 2 就職活動に必要な情報が、すぐに得られること
- 3 職場実習やインターンシップなどで経験を積んでおくこと
- 4 難病患者就職サポーターやジョブコーチなど、支援してくれる人がいること
- 5 障害の特性に合った職業訓練が受けられること
- 6 仕事の手順がわかりやすくマニュアル化されていること
- 7 段差解消や車いす対応の机等、職場環境のバリアフリー化
- 8 上司や同僚の理解と協力があること
- 9 働くうえでの悩みを相談できる場があること
- 10 家族の理解と協力があること
- 11 自分自身に意欲があること
- 12 その他（)

3 社会参加やコミュニケーション

問 18 あなた（ご本人）は、次のサービスについて、1か月あたり平均してどれくらい利用していますか？「1か月あたりの回数」、「1回あたりの時間」ならびに「時間数が足りているか」をそれぞれお答えください。

項目	i 1か月 あたりの回数	ii 今後 行いたい取組	iii 時間数が足りているか	
ア) 同行援護	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
イ) 行動援護	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
ウ) 移動支援	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
エ) 手話通訳	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
オ) 要約筆記	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
カ) これらのサービスは利用していない				

問 19 あなた（ご本人）が、社会参加や余暇活動などで外出をするとき、困ることはありますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 外に出ることに不安がある
- 2 道路や駅などが利用しづらい
- 3 電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい
- 4 混雑した電車やバスには、乗りたくない
- 5 すぐに疲れてしまう
- 6 利用する建物の設備が、障害に対応していない
- 7 必要な介助者が確保できない
- 8 手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない
- 9 一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない
- 10 FAX 番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない
- 11 障害に対する周囲の人々の理解が足りない
- 12 障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される
- 13 その他 ()
- 14 特になし

問 20 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど） |
| 2 | 利用できる時間帯を増やしてほしい |
| 3 | ヘルパー事業所が増えてほしい |
| 4 | ヘルパーの質を上げてほしい |
| 5 | 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい |
| 6 | その他（ ） |

問 23 日常的なコミュニケーションの際に心配なことは何ですか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 自分の思っていることをうまく相手に伝えられない |
| 2 | 読み書きが苦手 |
| 3 | 大きな音や特定の音に敏感に反応してしまう |
| 4 | 感情のコントロールが苦手 |
| 5 | 相手がどのように感じているか理解するのが難しい |
| 6 | その他（ ） |

問 25 余暇（主に休日）は、どのように過ごしていますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|----------|
| 1 | 家でくつろぐ | 2 | 買い物 | 3 | 近所の散歩 |
| 4 | 趣味や学習活動 | 5 | 友人・知人と会う | 6 | 読書 |
| 7 | 飲食店に行く | 8 | 旅行 | 9 | 演劇や映画の鑑賞 |
| 10 | スポーツ・運動 | 11 | 地域の行事への参加 | 12 | ボランティア活動 |
| 13 | その他（ ） | 14 | 特に何もしない | | |

問 28 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 電話での相談
- 2 FAX やメールでの相談
- 3 相談員などが自宅を訪問する
- 4 夜間や休日にも相談できるようにする
- 5 障害者や家族など、同じ立場の人による相談（ピアカウンセリング、ピアサポート）
- 6 さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口
- 7 専門性の高い相談
- 8 相談窓口に関する情報提供
- 9 かかりつけ医からの情報提供
- 10 その他（)

問● 国では、今年5月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。江東区においてもこの法律を踏まえ、障害のある人の情報の十分な取得や利用、スムーズな意思疎通を推進するための施策の充実を検討しています。

あなたは、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が特に必要であるとお考えですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- 1 障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実
- 2 場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備
- 3 障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり
- 4 ICTを利活用することができるネットワークや利用環境の充実
- 5 障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援
- 6 情報通信機器の使用するための技術習得に対する支援
- 7 情報通信機器を活用する機会・場の充実
- 8 情報通信に関する情報の提供
- 9 その他（)
- 10 特にない

5 サービスの利用

問 29 あなた（ご本人）の福祉サービスの利用についてお答えください。

サービス種別	1 利用した ことがある	2 利用を控えた ことがある	3 今後 利用したい
ア) 居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3
イ) 重度訪問介護	1	2	3
ウ) 同行援護	1	2	3
エ) 行動援護	1	2	3
オ) 重度障害者等包括支援	1	2	3
カ) 生活介護	1	2	3
キ) 自立訓練（機能訓練）	1	2	3
ク) 自立訓練（生活訓練）	1	2	3
ケ) 就労移行支援	1	2	3
コ) 就労定着支援	1	2	3
サ) 就労継続支援（A型）	1	2	3
シ) 就労継続支援（B型）	1	2	3
ス) 療養介護	1	2	3
セ) 短期入所	1	2	3
ソ) 施設入所支援	1	2	3
タ) 共同生活援助（グループホーム）	1	2	3
チ) 補装具費の支給	1	2	3
ツ) 日常生活用具の給付等	1	2	3
テ) 手話通訳者の派遣	1	2	3
ト) 要約筆記者の派遣	1	2	3
ナ) 移動支援	1	2	3
ニ) 地域活動支援センター	1	2	3
ヌ) 介護保険サービス	1	2	3
ネ) 医療保険の訪問看護	1	2	3
ノ) その他	1	2	3
ハ) 特にない	1	2	3

問 33 あなた（ご本人）の現在のお住まいはどのような形態ですか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む |
| 2 借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸） |
| 3 都営住宅、区営住宅、公社住宅、UR 賃貸 |
| 4 社宅・公務員住宅 |
| 5 グループホーム、生活寮 |
| 6 その他（) |

問 34 あなた（ご本人）は、お住まいに関し、どのような支援を必要としていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 住宅をバリアフリー化するための費用の貸付や助成 |
| 2 家具転倒防止や耐震化・不燃化などの災害対策 |
| 3 公営住宅への優先入居の拡充 |
| 4 民間賃貸住宅への入居支援 |
| 5 家賃の補助 |
| 6 グループホームなどの整備 |
| 7 その他（) |
| 8 特にない |

問 35 現在の暮らし向き（家計の状況）について、どう感じていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 ゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 普通（どちらともいえない） | 4 やや苦しい |
| 5 苦しい | |

問 36 あなた（ご本人）は、将来どのような暮らしを希望していますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。※今の暮らしを続けていきたい方は、今の状況をお答えください。

- | |
|---------------------------|
| 1 親元から独立した生活（ひとり暮らし、結婚など） |
| 2 親や親族のもとでの生活 |
| 3 グループホームでの生活 |
| 4 区内に施設があれば、入所施設での生活 |
| 5 区外でも良いので、入所施設での生活 |
| 6 わからない |
| 7 その他（) |

問 37 あなた（ご本人）が希望する暮らしをするために必要なことは、何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | | |
|----|---|
| 1 | ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実 |
| 2 | 介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援等） |
| 3 | 医療やリハビリテーションの充実 |
| 4 | 成年後見制度利用の支援 |
| 5 | 日常生活自立支援事業利用の支援 |
| 6 | 自立生活・就労のための訓練・指導・支援 |
| 7 | 家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助 |
| 8 | 障害者向け住宅の充実 |
| 9 | グループホームの充実 |
| 10 | 入所施設の充実 |
| 11 | 地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解 |
| 12 | 相談支援事業の充実 |
| 13 | 福祉サービスの利用支援 |
| 14 | 働く場所の確保 |
| 15 | 通所施設の充実 |
| 16 | その他（ ） |
| 17 | 特になし |

問● 日常の生活費はどうしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|--------|---|------|---|---|
| 1 | 工賃・給料等 | 2 | 年金 | 3 | 家族の収入 |
| 4 | 預金 | 5 | 生活保護 | 6 | その他（ ） |

問● 今のあなたの収入（税込みの総収入）は、1年にどのくらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。収入には工賃・年金を含みます。

- | | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|
| 1 | 年間 30 万円未満 | 2 | 年間 30 万円～80 万円未満 |
| 3 | 年間 80 万円～150 万円未満 | 4 | 年間 150 万円～300 万円未満 |
| 5 | 年間 300 万円～500 万円未満 | 6 | 年間 500 万円以上 |
| 7 | わからない | | |

問● 今のあなたの世帯収入（税込みの総収入）は、1年にどのくらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、世帯には、食費や光熱水費、家賃などの生活費をともにしている人を含めてください。収入には工賃・年金を含みます。

1 年間 80 万円未満	2 年間 80 万円～150 万円未満
3 年間 150 万円～300 万円未満	4 年間 300 万円～500 万円未満
5 年間 500 万円～600 万円未満	6 年間 600 万円～1,000 万円未満
7 年間 1,000 万円以上	8 わからない

問● 江東区立図書館では障害の有無にかかわらず、誰もが図書館を利用し、本に親しむ行うことができるよう、様々なサービスを提供しています。あなたは、以下のサービスを知っていますか。または利用したことがありますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

サービス種別	1 知っていて 利用したことがある	2 利用したことはないが、 サービスの名前・内容は 知っている	3 サービスの名前は 聞いたことがあるが、 内容は知らない	4 知らない
ア) 対面朗読	1	2	3	4
イ) 録音図書・点字図書	1	2	3	4
ウ) 音訳者養成講座	1	2	3	4
エ) 宅配サービス	1	2	3	4

問● あなたが取り組んでみたいと思う文化芸術活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|--|
| 1 | 音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など） |
| 2 | 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など） |
| 3 | 演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど） |
| 4 | 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど） |
| 5 | 映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など |
| 6 | 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など） |
| 7 | 芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など） |
| 8 | 生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化） |
| 9 | その他（ <input type="text"/> ） |
| 10 | 取り組んでみたいと思う文化芸術活動はない |

7 災害時の支援

問 38 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 39 地域（町会・自治会）の防災訓練に参加してみたいと思いますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 参加したい |
| 2 参加したくない |
| 3 参加は難しいが、見学だけでもしてみたい |

問 40 災害時には、どのような支援が必要ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など）
- 2 落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など）
- 3 医療機器（人工呼吸器等）使用のための電源確保
- 4 安全な場所への誘導・移動の支援
- 5 避難所などにおける、誰でもトイレの設置
- 6 医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供
- 7 仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化
- 8 障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具等）
- 9 身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置
- 10 その他（)

問 41 あなた（ご本人）が、地震などの災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 家族と連絡が取れるか不安
- 2 災害の情報をする方法がわからない
- 3 助けを求める方法がわからない
- 4 避難所の場所がわからない
- 5 近くに助けてくれる人がいない
- 6 ひとりでは避難できない
- 7 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 8 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 9 避難場所で周りの人の目が気になる
- 10 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 11 医療機器の電源確保が心配
- 12 その他（)
- 13 特にない

問 42 あなた（ご本人）は、災害に対してどのような備えをしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|---|
| 1 | 日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている |
| 2 | 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている |
| 3 | 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている |
| 4 | 近所の人や知人等に、災害が発生した時の助けをお願いしている |
| 5 | 江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している |
| 6 | 家具に転倒防止器具を取り付けている |
| 7 | 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている |
| 8 | 区民防災組織（町会・自治会）や消防団等に参加している |
| 9 | 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している |
| 10 | 特にない |
| 11 | その他（ ） |

8 障害者施策

問 44 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）が施行されました。このことを知っていましたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| 1 | 知っていた | 2 | 知らなかった |
|---|-------|---|--------|

問 45 区では、「障害者虐待防止センター」を障害者支援課の中に設置し、虐待の通報受付や、虐待防止のための相談などを行っています。このことを知っていましたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| 1 | 知っていた | 2 | 知らなかった |
|---|-------|---|--------|

問 46 あなた（ご本人）は、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | ある | 2 | ない |
|---|----|---|----|

問 47 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思いますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 障害や障害者への理解 |
| 2 虐待防止や差別解消に関する周知・啓発 |
| 3 成年後見制度の活用 |
| 4 障害者の自立支援 |
| 5 養護者への支援（相談支援、レスパイトケアの充実等） |
| 6 地域（近隣住民）、社会との交流 |
| 7 その他（ ） |
| 8 わからない |

問 48 江東区の福祉サービスは、3年ほど前（令和元年頃）と比べて、変化していますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 かなり良くなったと思う | 2 少し良くなったと思う |
| 3 どちらともいえない | 4 少し低下したと思う |
| 5 かなり低下したと思う | |

9 障害者スポーツ

問 49 東京パラリンピックで実施された競技のうち、取り組んでみたいと思ったスポーツは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------------|
| 1 5人制サッカー（ブラインドサッカー） | 2 アーチェリー | |
| 3 カヌー | 4 ゴールボール | |
| 5 シットティングバレーボール | 6 テコンドー | |
| 7 トライアスロン | 8 バドミントン | 9 パワーリフティング |
| 10 ボート | 11 ボッチャ | 12 車いすテニス |
| 13 車いすバスケットボール | 14 車いすフェンシング | 15 車いすラグビー |
| 16 陸上競技 | 17 馬術 | 18 柔道 |
| 19 射撃 | 20 水泳 | 21 卓球 |
| 22 自転車競技 | 23 取り組んでみたいと思ったスポーツはない | |

問 50 あなた（ご本人）は、スポーツ・レクリエーションをどれくらい行っていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。（学校での授業や行事、部活動は含めません）

- | | | |
|------------------|------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に3～5日 | 3 週に1～2日 |
| 4 月に1～3日 | 5 3か月に1～2日 | 6 年に1～3日 |
| 7 スポーツ・運動を行っていない | | |

問 51 あなた（ご本人）は、スポーツ・レクリエーションを行う目的はどのようなものですか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 健康や体力づくりのため | 2 運動不足を感じるから |
| 3 楽しみやストレス発散のため | 4 美容やダイエットのため |
| 5 家族のふれあいとして | 6 友人や仲間との交流として |
| 7 地域のコミュニケーションの場として | 8 自己の記録や能力を向上させるため |
| 9 リハビリテーションの一環として | 10 余暇の有効利用 |
| 11 その他（ | 12 特に理由はない |

問 52 あなた（ご本人）が、スポーツ・レクリエーションを行う場所はどこですか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 公共スポーツ施設（体育館/グラウンド/プール/トレーニング室） |
| 2 民間スポーツ施設（体育館/グラウンド/プール/トレーニング室） |
| 3 公立小中学校（体育館/グラウンド/プール） |
| 4 障害者スポーツ専用・優先施設（体育館/グラウンド/プール） |
| 5 公園 |
| 6 自宅 |
| 7 その他（ |

問 53 あなた（ご本人）が、スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることは何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 交通手段・移動手段がない
- 2 スポーツ・レクリエーションをできる場所がない
- 3 施設がバリアフリーでない
- 4 施設に利用を断られる
- 5 スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない
- 6 どんなスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない
- 7 指導者がいない
- 8 介助者がいない
- 9 仲間がいない
- 10 家族の負担が大きい
- 11 金銭的な余裕がない
- 12 時間がない
- 13 体力がない
- 14 医者に止められている
- 15 障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
- 16 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない
- 17 スポーツ・レクリエーションが苦手である
- 18 スポーツ・レクリエーションでけがをするのではないかと心配である
- 19 人の目が気になる
- 20 一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である
- 21 その他（）
- 22 特にない

10 共生社会

問 54 ご家庭とご近所とのお付き合いは、どの程度ですか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 困ったことを相談し合える人がいる | 2 さしさわりのないことなら話せる人がいる |
| 3 道で会えば、あいさつする程度の人ならいる | 4 ほとんど近所付き合いはない |

問 56 あなた（ご本人）は、今まで外出先で困ったとき、知らない方から手助けや配慮をしてもらった経験がありますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 58 障害のある人もない人も、共に生活できる地域社会の実現のためにはどのようなことが大切だと考えますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | |
|---|
| 1 近隣住民の理解と協力 |
| 2 障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナー等の開催 |
| 3 障害者と交流を持つ場の様々な企画、充実 |
| 4 地域の見守りネットワーク |
| 5 障害者支援ボランティアの育成活用 |
| 6 介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保 |
| 7 保健・医療・福祉のネットワーク |
| 8 身近な相談窓口の設置、充実 |
| 9 障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓 |
| 10 住宅確保の支援 |
| 11 グループホームの整備、充実 |
| 12 通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する） |
| 13 小中学校等での障害理解に関する学習、交流学习の充実 |
| 14 障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進 |
| 15 物理的、制度、情報、意識等、様々なバリアフリー化 |
| 16 成年後見制度の周知 |
| 17 経済的支援 |
| 18 障害があっても、誰かを手助けしたり、誰かの役に立つことのできる機会の創出・提供・紹介 |
| 19 その他（ ） |

11 介護者

問 62 主たる介護者の方の続柄（ご本人様から見た関係）と年齢、1日の平均的な介護（介助）の時間数について、おききします。続柄は、あてはまるもの1つに○をつけてください。年齢と1日の平均的な介護（介助）の時間数は、それぞれ記入してください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 親（両親または父、母） | 2 配偶者（夫または妻） |
| 3 子ども | 4 兄弟姉妹 |
| 5 祖父・祖母 | 6 1～5以外の親せき |
| 7 その他（ | ） |

ア) 年齢：（ ）歳	イ) 1日の介護時間：約（ ）時間
------------	-------------------

問 64 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）が施行されました。このことを知っていましたか？

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 65 あなた（介護者）は、介護（介助）にあたり、どのような悩みや不安がありますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 介護・介助・支援の方法がわからない | |
| 2 休養やくつろぎ、余暇など、自分のための時間が持てない | |
| 3 外出ができない、外へ仕事に出られない | |
| 4 家族（子、兄弟姉妹など）に、何かと我慢をさせてしまう | |
| 5 睡眠不足や疲労など、身体的な負担が大きい | |
| 6 ストレスや緊張感など、精神的な負担が大きい | |
| 7 介護費用や医療費など、経済的な負担が大きい | |
| 8 介護者自身の健康に不安がある | |
| 9 何かあったとき、気軽に相談や介護等を頼める人がいない | |
| 10 その他（ | ） |
| 11 特に悩みや不安はない | |

問 66 あなた（介護者）が、病気やけがで長期間（おおむね3か月程度）介護できなくなった場合、どのような対応を考えていますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 別の家族・親族に、代わりに頼む
- 2 ホームヘルプサービスを利用する
- 3 ボランティアを活用する
- 4 短期入所（ショートステイ）を利用する
- 5 緊急一時保護（リバーハウス東砂など）を利用する
- 6 その他（)

問 67 家族で介護（介助）する方への支援策として、今後充実してほしいことは何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 短期入所（ショートステイ）のできる施設の整備
- 2 緊急一時保護（リバーハウス東砂など）
- 3 入所施設、グループホームの整備
- 4 レスパイトケア（介護者の一時的な休息のための援助）
- 5 障害の特性や介護（介助）などに関する講習会
- 6 ホームヘルプ（居宅介護）サービス
- 7 ボランティアの育成
- 8 利用できるサービスの広報・案内
- 9 相談支援
- 10 その他（)

問● 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 健康であり、要介護認定は受けていない
- 2 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない
- 3 要支援1・2
- 4 要介護1・2
- 5 要介護3～5

問● 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- 1 フルタイムで働いている
- 2 パートタイムで働いている
- 3 働いていない

問● 主な介護者の方は、介護にあたって、働き方についての調整等をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

問● 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3 制度を利用しやすい職場づくり
- 4 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 5 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 6 介護をしている従業員への経済的な支援
- 7 その他（）
- 8 特にない

問● 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |

問● あなたが介護している人の将来のことで不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 就労のこと | 2 結婚のこと |
| 3 友人や仲間、理解者がいるか | 4 自立した生活ができるか |
| 5 親が亡くなった後の住まいについて | 6 親が亡くなった後の生活費について |
| 7 親が亡くなった後の介護者について | 8 その他 () |
| 9 特にない | |

問● あなたが、医療的ケアを必要とする人の介護について、困りごとや不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 一時的に預かってくれるサービスの不足 |
| 2 医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足 |
| 3 医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足 |
| 4 医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足 |
| 5 医療的ケアに対応できる専門医の不足 |
| 6 経済的な負担が大きい |
| 7 保護者や介護者等の就労に制限がある |
| 8 災害時の対応（避難方法や避難先での生活等） |
| 9 チューブの自己抜去等の本人の行動特性 |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |

<以下は次期計画の指標に活用する設問です。>

問● あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 何があっても、一生住み続けたい |
| 2 区内に住みたいが、健康状態による |
| 3 仕事や受たいサービス等があれば、住み続けたい |
| 4 なるべく区外に住みたい |
| 5 生活が不便で区内では暮らすことができない |
| 6 家族の意向による、決められない |

問● あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 暮らしやすい | 2 どちらかといえば暮らしやすい |
| 3 どちらかといえば暮らしにくい | 4 暮らしにくい |

問● あなたは、日常生活の中で周囲から配慮されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問● あなたは、江東区を「快適で安全なまちである」と思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問● あなたは、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 満足している | 2 やや満足している |
| 3 やや不満である | 4 不満である |

問● 3年前と比べて、江東区の障害者施策は充実したと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に進んだと思う | 2 多少進んだと思う |
| 3 変わらないと思う | 4 後退したと思う |

問● あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、0点から10点までのいずれか1つに○をつけてください。



令和4年度 江東区 地域生活に関する調査

このアンケート調査は、皆様の生活実態やどのような福祉サービスを利用したいかを把握し、令和5年度に予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」策定の基礎資料とするために、実施するものです。

この調査票は、江東区にお住まいで18歳未満の障害のあるお子様や児童発達支援施設、特別支援教室（通級指導学級）などに通われているお子様の中から無作為に抽出して、その保護者様にお送りさせていただきました。

《ご回答にあたってのお願い》

- (1) このアンケート調査は、18歳未満の障害のあるお子様や児童発達支援施設、特別支援教室（通級指導学級）などに通われているお子様を養育している保護者の方がご回答をお願いします。
- (2) 回答は、各設問の選択肢の中から該当する番号・記号を選んで、○をつけてください。
- (3) 年齢や時間数などは、() 内に数字で記入してください。
- (4) 「その他」に○をつけた場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- (5) 回答できない設問には、答えなくて結構です。

この調査は、前回は令和元年度に実施しています。

調査結果報告書については、江東区内の図書館の他、江東区ホームページでも、ご覧になることができます。

《調査票のご提出について》

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒で、令和4年●月●日(●)までにご返送願います。

差出人さまのお名前を記入する必要はありませんので、誰がどのような回答をしたかは、わからないようになっています。

お手数をおかけしますが、このアンケート調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

《調査委託先（調査票の内容に関するお問い合わせ先）》

「江東区地域生活に関する調査」事務局

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：松本、田中

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL: 0120-●●●-●●●● (フリーダイヤル)

委託元：江東区 福祉部 障害者施策課 施策推進係

〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28

TEL:03-3647-4749 FAX:03-3699-0329

1 お子様の状況

問1 お子様の年齢は、何歳ですか？令和4年 10月1日現在の年齢を記入してください。

() 歳

問2 お子様の障害について、おききします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 身体障害（ア～エにも○をつけてください）

（ア）肢体不自由

（イ）聴覚・音声・言語機能障害

（ウ）視覚障害

（エ）内部障害

2 知的障害

3 精神障害

4 難病

5 発達障害

6 高次脳機能障害

問3 お子様がお持ちの障害者手帳などについて、おききします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 身体障害者手帳 [1級・2級・3級・4級・5級・6級] |
| 2 愛の手帳 [1度・2度・3度・4度] |
| 3 精神障害者保健福祉手帳 [1級・2級・3級] |
| 4 自立支援医療（精神通院医療）受給者証 |
| 5 特定疾患医療受給者証（難病医療券）、小児慢性疾患医療券 |
| 6 1～5のいずれにも該当しない |

問4 お子様は、次のような診断を受けていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 自閉症 | 2 アスペルガー症候群（高機能自閉症） |
| 3 広汎性発達障害 | 4 学習障害（LD） |
| 5 注意欠陥・多動性障害（AD/HD） | 6 1～5のいずれにも該当しない |

問5 お子様の発達に関する問題について、ご家族の方が最初に気づいたのは、お子様が何歳の時ですか？年齢を記入してください。

() 歳

問6 お子様は現在、どなたと一緒に暮らしていますか？一緒に生活されている方すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 親（両親または父、母） | 2 兄弟姉妹 |
| 3 祖父・祖母 | 4 1～3以外の親せき |
| 5 その他（) | |

問7 お子様は、定期的（月に1回以上）に病院へ通院をしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------|
| 1 江東区内の病院に通院している |
| 2 江東区外の病院に通院している |
| 3 定期的には通院していない |

問 10 お子様在学校生活などを送るうえで、保護者の方が心配されていることや困っていることは何ですか？また、お子様または保護者の方としては、学校（中学または高校）卒業後は、どのような進路を希望していますか？もっともあてはまるものに1つ○をつけてください。

<心配されていること（困っていること）>

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 通学・通園が、体力的につらい | |
| 2 先生や友達、他の保護者に気をつかう | |
| 3 学校や園、クラスメートや保護者の理解が足りない | |
| 4 学習環境などが障害に対応していない | |
| 5 授業に集中できない | |
| 6 その他（ | ） |
| 7 特にない | |

<卒業後の希望する進路>

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 会社等に就職する（一般就労） | |
| 2 自宅で働く（家業を継ぐ、在宅就業など） | |
| 3 自らの会社・店などを持つ（起業する） | |
| 4 進学する（大学・専門学校など） | |
| 5 就労移行支援の事業所に通う | |
| 6 就労継続支援（A型）の事業所に通う | |
| 7 就労継続支援（B型）の事業所に通う | |
| 8 生活介護の事業所に通う | |
| 9 その他（ | ） |
| 10 まだ決めていない | |

問 11 お子様と同じような課題を有する方が仕事をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | | |
|----|---|
| 1 | 働くうえでの技術や知識を身につけること |
| 2 | 就職活動に必要な情報が、すぐに得られること |
| 3 | 職場実習やインターンシップなどで経験を積んでおくこと |
| 4 | 難病患者就職サポーターやジョブコーチなど、支援してくれる人がいること |
| 5 | 障害の特性に合った職業訓練が受けられること |
| 6 | 仕事の手順がわかりやすくマニュアル化されていること |
| 7 | 段差解消や車いす対応の机等、職場環境のバリアフリー化 |
| 8 | 上司や同僚の理解と協力があること |
| 9 | 働くうえでの悩みを相談できる場があること |
| 10 | 家族の理解と協力があること |
| 11 | 自分自身に意欲があること |
| 12 | その他（ ） |

3 社会参加やコミュニケーション

問 12 お子様は、次のサービスについて、1か月あたり平均してどれくらい利用していますか？「1か月あたりの回数」、「1回あたりの時間」ならびに「時間数が足りているか」をそれぞれお答えください。

項目	i	ii	iii	
	1か月 あたりの回数	今後 行いたい取組	時間数が足りているか	
ア) 同行援護	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
イ) 行動援護	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
ウ) 移動支援	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
エ) 手話通訳	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
オ) 要約筆記	() 回	() 時間	1 足りている	2 足りていない
カ) これらのサービスは利用していない				

問 13 お子様が、社会参加や余暇活動などで外出をするとき、困ることはありますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 外に出ることに不安がある
- 2 道路や駅などが利用しづらい
- 3 電車やバスなどの公共交通機関が利用しづらい
- 4 混雑した電車やバスには、乗りたくない
- 5 すぐに疲れてしまう
- 6 利用する建物の設備が、障害に対応していない
- 7 必要な介助者が確保できない
- 8 手話通訳、文字表示、点字などの配慮がされていない
- 9 一緒に出掛ける仲間や、付き添ってくれる人がいない
- 10 FAX 番号やメールアドレスなどの連絡方法が整備されていないので、参加連絡や問い合わせができない
- 11 障害に対する周囲の人々の理解が足りない
- 12 障害を理由に、施設、お店などの利用を拒否される
- 13 その他（)
- 14 特にない

問 14 社会参加の支援サービスについてどのような要望がありますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 利用しやすくしてほしい（利用の条件や手続きなど）
- 2 利用できる時間帯を増やしてほしい
- 3 ヘルパー事業所が増えてほしい
- 4 ヘルパーの質を上げてほしい
- 5 手話通訳や点訳・音訳などができる人が増えてほしい
- 6 その他（)

問 15 お子様在日常的なコミュニケーションをとる際に心配なことは何ですか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 自分（お子様）の思っていることをうまく相手に伝えられない |
| 2 | 読み書きが苦手 |
| 3 | 大きな音や特定の音に敏感に反応してしまう |
| 4 | 感情のコントロールが苦手 |
| 5 | 相手がどのように感じているか理解するのが難しい |
| 6 | その他（ ） |

問 16 お子様は、余暇（主に休日）は、どのように過ごしていますか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----|---|----|-----------|----|----------|
| 1 | 家でくつろぐ | 2 | 買い物 | 3 | 近所の散歩 |
| 4 | 趣味や学習活動 | 5 | 友人・知人と会う | 6 | 読書 |
| 7 | 飲食店に行く | 8 | 旅行 | 9 | 演劇や映画の鑑賞 |
| 10 | スポーツ・運動 | 11 | 地域の行事への参加 | 12 | ボランティア活動 |
| 13 | その他（ ） | 14 | 特に何もしない | | |

問 19 福祉サービスの利用について、区役所などへ相談しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 電話での相談 | |
| 2 | FAX やメールでの相談 | |
| 3 | 相談員などが自宅を訪問する | |
| 4 | 夜間や休日にも相談できるようにする | |
| 5 | 障害者や家族など、同じ立場の人による相談（ピアカウンセリング、ピアサポート） | |
| 6 | さまざまな相談に対応できるワンストップ窓口 | |
| 7 | 専門性の高い相談 | |
| 8 | 相談窓口に関する情報提供 | |
| 9 | かかりつけ医からの情報提供 | |
| 10 | その他（ | ） |

問 20 国では、今年5月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。江東区においてもこの法律を踏まえ、障害のある人の情報の十分な取得や利用、スムーズな意思疎通を推進するための施策の充実を検討しています。

あなたは、情報の取得利用や意思疎通において、どのような施策が特に必要であるとお考えですか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

- | | | |
|----|--|---|
| 1 | 障害の種類・程度に応じた情報の伝達手段の充実 | |
| 2 | 場所・地域にかかわらず情報が得られる環境の整備 | |
| 3 | 障害の有無にかかわらず同じ情報を得ることができる仕組みづくり | |
| 4 | ICTを利活用することができるネットワークや利用環境の充実 | |
| 5 | 障害のある人への情報通信機器の提供、障害のある人の情報通信機器の取得に対する支援 | |
| 6 | 情報通信機器の使用するための技術習得に対する支援 | |
| 7 | 情報通信機器を活用する機会・場の充実 | |
| 8 | 情報通信に関する情報の提供 | |
| 9 | その他（ | ） |
| 10 | 特になし | |

5 サービスの利用

問 21 お子様の福祉サービスの利用についてお答えください。

サービス種別	1 利用した ことがある	2 利用を控えた ことがある	3 今後 利用したい
ア) 児童発達支援	1	2	3
イ) 医療型児童発達支援	1	2	3
ウ) 放課後等デイサービス	1	2	3
エ) 保育所等訪問支援	1	2	3
オ) 短期入所	1	2	3
カ) 移動支援	1	2	3
キ) その他	1	2	3
ク) 特になし	1	2	3

問 22 利用しているサービスの量や質に満足していますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 満足している | 2 ほぼ満足している | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満である | 5 不満である | |

問 23 現在利用しているサービス提供事業者に対して、どのようなことを望んでいますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 利用できるサービスや契約に関する、わかりやすい説明 | |
| 2 点字・手話などのコミュニケーション手段の充実 | |
| 3 希望する曜日・時間帯に制約がないこと | |
| 4 サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保 | |
| 5 必要な量のサービスを提供できる体制の確保 | |
| 6 担当者が短期間で交替しないこと（継続的な対応） | |
| 7 その他（ | ） |
| 8 特になし | |

6 暮らし

問 24 お子様は、江東区にいつからお住まいですか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 生まれたときからずっと住んでいる
- 2 1年以内に江東区外から転居してきた
- 3 1～3年前に江東区外から転居してきた
- 4 3～5年前に江東区外から転居してきた
- 5 5～10年前に江東区外から転居してきた
- 6 10年以上前に江東区外から転居してきた

問 25 お子様の現在のお住まいはどのような形態ですか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 持ち家（一戸建て、集合住宅） ※家族名義も含む
- 2 借家（一戸建て）、民間のアパート、マンション（賃貸）
- 3 都営住宅、区営住宅、公社住宅、UR 賃貸
- 4 社宅・公務員住宅
- 5 グループホーム、生活寮
- 6 その他（)

問 26 現在の暮らし向き（家計の状況）について、どう感じていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1 ゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 普通（どちらともいえない） | 4 やや苦しい |
| 5 苦しい | |
| 5 区外でも良いので、入所施設での生活 | |
| 6 わからない | |
| 7 その他（) | |

問 27 お子様が将来、自立した生活を送ることができるようになるために必要なことは、何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | | |
|----|---|
| 1 | ホームヘルプ（居宅介護）サービスの充実 |
| 2 | 介護者への支援（短期入所、レスパイトケア、相談支援等） |
| 3 | 医療やリハビリテーションの充実 |
| 4 | 成年後見制度利用の支援 |
| 5 | 日常生活自立支援事業利用の支援 |
| 6 | 自立生活・就労のための訓練・指導・支援 |
| 7 | 家賃が低額な住宅のあっせん、または家賃の補助 |
| 8 | 障害者向け住宅の充実 |
| 9 | グループホームの充実 |
| 10 | 入所施設の充実 |
| 11 | 地域の人々（近隣住民、町会・自治会）の理解 |
| 12 | 相談支援事業の充実 |
| 13 | 福祉サービスの利用支援 |
| 14 | 働く場所の確保 |
| 15 | 通所施設の充実 |
| 16 | その他（ ） |
| 17 | 特にない |

問 28 今のお子様の世帯の収入（税込みの総収入）は、1年にどのくらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、世帯には、食費や光熱水費、家賃などの生活費をともにしている人を含めてください。収入には工賃・年金を含みます。

- | | | | |
|---|--------------------|---|----------------------|
| 1 | 年間 80 万円未満 | 2 | 年間 80 万円～150 万円未満 |
| 3 | 年間 150 万円～300 万円未満 | 4 | 年間 300 万円～500 万円未満 |
| 5 | 年間 500 万円～600 万円未満 | 6 | 年間 600 万円～1,000 万円未満 |
| 7 | 年間 1,000 万円以上 | 8 | わからない |

問 29 江東区立図書館では障害の有無にかかわらず、誰もが図書館を利用し、本に親しむ行うことができるよう、様々なサービスを提供しています。お子様は、以下のサービスを知っていますか。または利用したことがありますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

サービス種別	1 知っていて 利用したことがある	2 利用したことはないが、 サービスの名前・内容は 知っている	3 サービスの名前は 聞いたことがあるが、 内容は知らない	4 知らない
ア) 対面朗読	1	2	3	4
イ) 録音図書・点字図書	1	2	3	4
ウ) 音訳者養成講座	1	2	3	4
エ) 宅配サービス	1	2	3	4

問 30 お子様に取り組んでみたいと思う文化芸術活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 音楽（合唱、室内楽、吹奏楽、オーケストラ、オペラ、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など） |
| 2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など） |
| 3 演劇（劇、児童劇、人形劇、ミュージカルなど） |
| 4 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど） |
| 5 映画、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など |
| 6 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など） |
| 7 芸能（講談、落語、浪曲、漫才、和太鼓など） |
| 8 生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化） |
| 9 その他（ ） |
| 10 取り組んでみたいと思う文化芸術活動はない |

7 災害時の支援

問 31 区では、災害が起きた時に避難することが難しい方、希望する方の情報を掲載した「避難行動要支援者名簿」を作成し、区役所や消防署、警察などで共有して災害時に役立てることとしています。この名簿について知っていましたか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 32 地域（町会・自治会）の防災訓練に参加してみたいと思いますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 参加したい |
| 2 参加したくない |
| 3 参加は難しいが、見学だけでもしてみたい |

問 33 災害時には、どのような支援が必要ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 情報提供・通信手段への配慮（文字や音声による情報など） |
| 2 落ち着ける場所の提供（個室、静かな場所など） |
| 3 医療機器（人工呼吸器等）使用のための電源確保 |
| 4 安全な場所への誘導・移動の支援 |
| 5 避難所などにおける、誰でもトイレの設置 |
| 6 医薬品の処方や人工透析が受けられる医療機関情報の提供 |
| 7 仮設住宅への優先入居、仮設住宅のバリアフリー化 |
| 8 障害に応じた物資の確保（ミキサー食、ストマ用装具等） |
| 9 身の回りの介護（介助）をしてくれる人やカウンセラーの配置 |
| 10 その他（) |

問 34 お子様に関して、地震などの災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 家族と連絡が取れるか不安
- 2 災害の情報を知る方法がわからない
- 3 助けを求める方法がわからない
- 4 避難所の場所がわからない
- 5 近くに助けてくれる人がいない
- 6 ひとりでは避難できない
- 7 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 8 避難所で必要な支援が受けられるか不安
- 9 避難場所で周りの人の目が気になる
- 10 薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安
- 11 医療機器の電源確保が心配
- 12 その他（)
- 13 特にない

問 35 災害に対してどのような備えをしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 日ごろから家族で災害時の対応を話し合っている
- 2 非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている
- 3 疾病等で必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている
- 4 近所の人や知人等に、災害が発生した時の助けをお願いしている
- 5 江東区の「避難行動要支援者名簿」に登録している
- 6 家具に転倒防止器具を取り付けている
- 7 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
- 8 区民防災組織（町会・自治会）や消防団等に参加している
- 9 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している
- 10 特にない
- 11 その他（)

8 障害者施策

問 36 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。このことを知っていましたか?あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 37 区では、「障害者虐待防止センター」を障害者支援課の中に設置し、虐待の通報受付や、虐待防止のための相談などを行っています。このことを知っていましたか?あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問 38 これまでに差別をされたと感じた経験はありますか?あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 39 障害者への虐待や差別を防ぐには、何が重要だと思いますか?もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 障害や障害者への理解 |
| 2 虐待防止や差別解消に関する周知・啓発 |
| 3 成年後見制度の活用 |
| 4 障害者の自立支援 |
| 5 養護者への支援(相談支援、レスパイトケアの充実等) |
| 6 地域(近隣住民)、社会との交流 |
| 7 その他() |
| 8 わからない |

問 40 江東区の福祉サービスは、3年ほど前(令和元年頃)と比べて、変化していますか?あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 かなり良くなったと思う | 2 少し良くなったと思う |
| 3 どちらともいえない | 4 少し低下したと思う |
| 5 かなり低下したと思う | |

問 44 お子様が、スポーツ・レクリエーションを行う場所はどこですか？もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 公共スポーツ施設（体育館/グラウンド/プール/トレーニング室）
- 2 民間スポーツ施設（体育館/グラウンド/プール/トレーニング室）
- 3 公立小中学校（体育館/グラウンド/プール）
- 4 障害者スポーツ専用・優先施設（体育館/グラウンド/プール）
- 5 公園
- 6 自宅
- 7 その他（)

問 45 お子様が、スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることは何ですか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- 1 交通手段・移動手段がない
- 2 スポーツ・レクリエーションをできる場所がない
- 3 施設がバリアフリーでない
- 4 施設に利用を断られる
- 5 スポーツ・レクリエーションがどこでできるのか情報が得られない
- 6 どんなスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない
- 7 指導者がいない
- 8 介助者がいない
- 9 仲間がいない
- 10 家族の負担が大きい
- 11 金銭的な余裕がない
- 12 時間がない
- 13 体力がない
- 14 医者に止められている
- 15 障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
- 16 やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない
- 17 スポーツ・レクリエーションが苦手である
- 18 スポーツ・レクリエーションでけがをするのではないかと心配である
- 19 人の目が気になる
- 20 一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である
- 21 その他（)
- 22 特にない

10 共生社会

問 46 ご家庭とご近所とのお付き合いは、どの程度ですか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 困ったことを相談し合える人がいる | 2 さしさわりのないことなら話せる人がいる |
| 3 道で会えば、あいさつする程度の人ならいる | 4 ほとんど近所付き合いはない |

問 47 お子様と外出して困ったとき、知らない方から手助けや配慮をしてもらった経験がありますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 48 障害のある人もない人も、共に生活できる地域社会の実現のためにはどのようなことが大切だと考えますか？あてはまるものに○をつけてください（3つまで）。

- | |
|---|
| 1 近隣住民の理解と協力 |
| 2 障害理解・バリアフリーに関する区民向けセミナー等の開催 |
| 3 障害者と交流を持つ場の様々な企画、充実 |
| 4 地域の見守りネットワーク |
| 5 障害者支援ボランティアの育成活用 |
| 6 介護職等の福祉サービスを支える人材の育成確保 |
| 7 保健・医療・福祉のネットワーク |
| 8 身近な相談窓口の設置、充実 |
| 9 障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓 |
| 10 住宅確保の支援 |
| 11 グループホームの整備、充実 |
| 12 通所施設の併用（複数の施設に在籍・通所する） |
| 13 小中学校等での障害理解に関する学習、交流学習の充実 |
| 14 障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進 |
| 15 物理的、制度、情報、意識等、様々なバリアフリー化 |
| 16 成年後見制度の周知 |
| 17 経済的支援 |
| 18 障害があっても、誰かを手助けしたり、誰かの役に立つことのできる機会の創出・提供・紹介 |
| 19 その他（ ） |

11 介護者

問 52 主な介護者の方は要介護認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 健康であり、要介護認定は受けていない
- 2 何らかの病気や障害などがあるが、要介護認定は受けていない
- 3 要支援1・2
- 4 要介護1・2
- 5 要介護3～5

問 53 主な介護者の方の現在の勤務形態は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- 1 フルタイムで働いている
- 2 パートタイムで働いている
- 3 働いていない

問 54 主な介護者の方は、介護にあたって、働き方についての調整等をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 特に行っていない
- 2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

問 55 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない |
| 2 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3 制度を利用しやすい職場づくり |
| 4 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 5 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 |
| 6 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 7 その他 () |
| 8 特にない |

問 56 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 問題なく、続けていける | 2 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3 続けていくのは、やや難しい | 4 続けていくのは、かなり難しい |

問 57 お子様は18歳になった時の希望について、あてはまるものはどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。本人の気持ちになってお書きください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 学校・大学・専門学校などへの進学 | 2 一般企業への就職 |
| 3 福祉施設への通所 | 4 福祉施設への入所 |
| 5 結婚 | 6 その他 () |
| 7 特に考えていない | |

問 58 お子様の将来のことで不安に思うことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 お子様の進学のこと | 2 お子様の就職のこと |
| 3 お子様の結婚のこと | 4 友人や仲間、理解者がいるか |
| 5 自立した生活ができるか | 6 親が亡くなった後の住まいについて |
| 7 親が亡くなった後の生活費について | 8 親が亡くなった後の介護者について |
| 9 その他 () | 10 特にない |

問 59 あなたが、医療的ケアを必要とするお子様の介護について、困りごとや不安に思っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一時的に預かってくれるサービスの不足
- 2 医療的ケアに対応できる移動や送迎にかかわるサービスの不足
- 3 医療的ケアに対応できる在宅系サービスの不足
- 4 医療的ケアに対応できる日中活動系サービスの不足
- 5 医療的ケアに対応できる専門医の不足
- 6 経済的な負担が大きい
- 7 保護者や介護者等の就労に制限がある
- 8 災害時の対応（避難方法や避難先での生活等）
- 9 チューブの自己抜去等の本人の行動特性
- 10 その他（）
- 11 特にない

<以下は次期計画の指標に活用する設問です。>

問● あなたは、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 何があっても、一生住み続けたい
- 2 区内に住みたいが、健康状態による
- 3 仕事や受けたいサービス等があれば、住み続けたい
- 4 なるべく区外に住みたい
- 5 生活が不便で区内では暮らすことができない
- 6 家族の意向による、決められない

問● あなたにとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 暮らしやすい | 2 どちらかといえば暮らしやすい |
| 3 どちらかといえば暮らしにくい | 4 暮らしにくい |

問● あなたは、日常生活の中で周囲から配慮されていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問● あなたは、江東区を「快適で安全なまちである」と思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問● あなたは、障害者支援施策に満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 満足している | 2 やや満足している |
| 3 やや不満である | 4 不満である |

問● 3年前と比べて、江東区の障害者施策は充実したと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に進んだと思う | 2 多少進んだと思う |
| 3 変わらないと思う | 4 後退したと思う |

問● あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、0点から10点までのいずれか1つに○をつけてください。



令和4年度 江東区 地域生活に関する調査

このアンケート調査は、令和5年度に予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」策定の基礎資料とするために、実施するものです。

江東区内で障害福祉サービス等を提供されている事業者の方から様々なご意見をお伺いいたしたく、このたび調査票をお送りさせていただきました。

《ご回答にあたってのお願い》

- (1) 回答は、特に断り書きの無い限り、各設問の選択肢の中から該当する番号を1つ選んで、○をつけてください。
- (2) 障害者・児の福祉サービスに関する調査なので、介護保険サービスは含めないでください。
- (3) 特に断り書きの無い限り、「障害」には「難病」も含まれます。

この調査は、前は令和元年度に実施しています。

調査結果報告書については、江東区内の図書館の他、江東区ホームページでも、ご覧になることができます。

《調査票のご提出について》

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒で、**令和4年●月●日(●)まで**にご返送願います。

《調査委託先（調査票の内容に関するお問い合わせ先）》

「江東区地域生活に関する調査」事務局

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：松本、田中

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL: 0120-●●●-●●●● (フリーダイヤル)

委託元：江東区 福祉部 障害者施策課 施策推進係

〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28

TEL: 03-3647-4749 FAX: 03-3699-0329

サービス種別	実際の提供量	提供可能な量
ス) 療養介護	() 人日	() 人日
セ) 短期入所	() 人日	() 人日
ソ) 施設入所支援	() 人	() 人
タ) 共同生活援助（グループホーム）	() 人	() 人
チ) 自立生活援助	() 人	() 人
ツ) 特定相談支援	() 人	() 人
テ) 地域移行支援	() 人	() 人
ト) 地域定着支援	() 人	() 人
ナ) 移動支援	() 人	() 人
ニ) 障害児相談支援	() 時間	() 時間
ヌ) 児童発達支援	() 人日	() 人日
ネ) 医療型児童発達支援	() 人日	() 人日
ノ) 放課後等デイサービス	() 人日	() 人日
ハ) 保育所等訪問支援	() 人日	() 人日

問8 貴事業所で、サービスを提供する上で課題となっていることについて、該当するものに○をつけてください。（○は3つまで）

1	量的に、利用者の希望どおり提供できていない
2	質的に、利用者の希望どおり提供できていない
3	契約やサービス内容についての説明が十分できていない
4	利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
5	困難事例への対応が難しい
6	休日や夜間の対応が難しい
7	変更やキャンセルが多い
8	苦情やトラブルが多い
9	人員が足りない（国の基準では人員が足りない）
10	その他（)
11	特にない

問9 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族の方から、どのような相談や苦情を受けることがありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 利用できるサービスが分かりにくい | 2 利用日などが希望どおりにならない |
| 3 利用できる時間数が少ない | 4 サービスの質がよくない |
| 5 利用したいサービスが活用できない | 6 利用者負担が大きい |
| 7 職員間の申し送りが不十分 | 8 区役所などでの手続きが大変 |
| 9 その他（ | 10 特にない |

問10 貴事業所では、スタッフの質の向上など人材を育成するために、どのようなことに取り組んでいますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 法人内で、研修会を開催している |
| 2 外部の研修会に、スタッフを参加させている |
| 3 ケース会議等でスキルアップを図っている |
| 4 他の事業所と交流している |
| 5 その他（ |

問11 (1) 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) また、今後どのような取り組みを行っていこうと考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

項目	(1) 現在 行っている 取組	(2) 今後 行いたい 取組
ア) サービス提供のガイドラインやマニュアル等の作成	1	2
イ) 事故防止のため、ヒヤリハット事例の収集・共有	1	2
ウ) 利用者や家族に対する、満足度調査の実施	1	2
エ) 積極的に外部評価を受ける（ISO、第三者評価）	1	2
オ) 事業所の管理者が、直接、サービス提供状況を確認・指導	1	2
カ) その他（	1	2
キ) 特に行っていない	1	2

問 15 介護保険サービスの指定を受けている事業所におたずねします。貴事業所の、収入（売り上げベース）で見た場合、障害福祉サービスと介護保険サービスの割合について、あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 両方のサービスとも同じくらいの収入である |
| 2 障害福祉サービスの収入の方が大きい |
| 3 介護保険サービスの収入の方が大きい |

問 12 貴事業所を経営していく上での課題について、該当するもの すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 スタッフの確保 | 2 スタッフの待遇改善 |
| 3 スタッフの資質向上 | 4 施設・設備の改善 |
| 5 利用者・家族とのコミュニケーションの取り方 | |
| 6 制度改正などへの対応 | |
| 7 事務作業量の軽減 | 8 収益の確保、運転資金の調達 |
| 9 他の事業者との連携 | 10 行政との連携 |
| 11 医療機関との連携 | 12 地域の理解 |
| 13 その他（ | ） 14 特に課題はない |

問 13 貴事業所では、人材を確保するために、どのようなことに取り組んでいますか？該当するもの すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 人材募集の専門の折込チラシに掲載した | |
| 2 インターネットの求人サイトを利用した | |
| 3 口コミで探している | 4 ハローワークなどを通じて募集した |
| 5 インターネットに広告を掲載した | 6 福祉専門学校等で求人を行った |
| 7 ボランティアを受け入れた | 8 その他（ |
| | ） |

問 14 貴事業所の今年度の収支状況（見込み）について、あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1 「黒字」を見込んでいる |
| 2 「収支均衡」を見込んでいる |
| 3 「赤字」を見込んでいる |

問 15 貴事業所の、今年度の収支状況と、昨年同時期の収支状況を比較して、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 前年度よりは黒字
- 2 前年度と比較して横ばい
- 3 前年度よりは赤字
- 4 わからない（前年度は事業を実施していない）

問 16 貴事業所の、収支の向上や改善についてのお考えに最も近いもの 1つに○をつけてください。

- 1 現在の事業の拡大もしくは新規事業展開を図っていく
- 2 現在の事業体制を維持しつつ、業務効率化等を図っていく
- 3 現在の事業の縮小を図っていく
- 4 その他（ ）
- 5 特に考えはない

問 17 次のサービスのうち、貴事業所において、今後3年間（令和7年度まで）に事業拡大または新規参入のお考えがあるものはどれですか？現段階でご検討されているもの すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 居宅介護（ホームヘルプ） | 2 重度訪問介護 |
| 3 同行援護 | 4 行動援護 |
| 5 重度障害者等包括支援 | 6 生活介護 |
| 7 自立訓練（機能訓練） | 8 自立訓練（生活訓練） |
| 9 就労移行支援 | 10 就労定着支援 |
| 11 就労継続支援（A型） | 12 就労継続支援（B型） |
| 13 療養介護 | 14 短期入所 |
| 15 施設入所支援 | 16 共同生活援助（グループホーム） |
| 17 自立生活援助 | 18 特定相談支援 |
| 19 地域移行支援 | 20 地域定着支援 |
| 21 移動支援 | 22 障害児相談支援 |
| 23 児童発達支援 | 24 医療型児童発達支援 |
| 25 放課後等デイサービス | 26 保育所等訪問支援 |
| 27 その他（ ） | |

問 18 新規サービスに参入又は事業拡大する上で課題となることは、何ですか？もっともあてはまるもの 1つに○をつけてください。(実際に事業の拡大・新規参入の予定がない場合でも、想定の上で、お答えください。)

- 1 障害・難病に対応できるスタッフの育成、確保
- 2 新規サービスのノウハウ獲得
- 3 参入のための資金調達、新たな施設や事業所などの確保
- 4 収益性の確保
- 5 その他 ()

問 19 障害福祉サービス等への事業者の新規参入又は事業拡大を促進するため、区としては、どのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いませんか？もっともあてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 障害者総合支援法や給付費に関する情報を提供する
- 2 サービスの利用者数など、今後の見込みに関する情報提供
- 3 困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言
- 4 研修・講座等に関する情報を提供する
- 5 その他 ()

問 20 職員数は充足していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|----------|------------|
| 1 非常に不足している | 2 不足している | 3 やや不足している |
| 4 十分である | 5 わからない | |

問 20-1 問 20 で 1～3 に ○ をつけた事業所にうかがいます。

その理由は何ですか。あてはまるもの すべてに○をつけてください。

- 1 離職率が高い（定着率が低い）
- 2 採用が困難
- 3 事業を拡大したいが人材が確保できない
- 4 事務業務等が増加している
- 5 その他 ()

問 21 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 虐待防止責任者の設置 | 2 虐待防止委員会の設置 |
| 3 虐待防止に係る研修への参加 | |
| 4 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催 | |
| 5 虐待防止マニュアルの作成 | 6 虐待防止連絡体制の整備 |
| 7 職員のメンタルヘルスのための研修を実施 | |
| 8 職員にストレスチェックを実施 | |
| 9 その他 () | |
| 10 特に取り組んでいない | |

問 22 貴事業所では災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 災害発生時対応マニュアルの作成 | 2 定期的に避難訓練を実施 |
| 3 備蓄品の整備 | 4 建物の耐震化 |
| 5 ロッカー、棚などの転倒防止措置 | 6 緊急連絡網の作成 |
| 7 避難経路の確保 | 8 避難行動計画の策定 |
| 9 その他 () | 10 特に取り組んでいない |

<追加設問案>

問● 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 研修などへの参加を促すとともに、研修内容を全職員に展開している
- 2 ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している
- 3 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動を行っている
- 4 他事業所での事例等を全職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている
- 5 全職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている
- 6 気軽に相談ができる窓口を整えている
- 7 その他 ()
- 8 特に行っていない

問● 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 契約条項などにハラスメントに対する対処方法を明記・説明し、未然防止に努めている
- 2 複数人対応を基本としている
- 3 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている
- 4 非常通報機能を有するベルや笛など、周囲に知らせる機器を携行している
- 5 暴力やハラスメントがあった場合は、事業所として対応できる環境を整えている
- 6 気軽に相談できる窓口を整えている
- 7 その他 ()
- 8 特に行っていない

問● (1) 地域における住民、団体、ボランティア等との関わりについて、どのようなことを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) また、これから行えることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

項目	(1) 行っていること	(2) これから行えること
ア) 住民向けの勉強会、講演等の開催	1	2
イ) イベントの開催等による地域住民との交流	1	2
ウ) 住民やボランティアと合同での事業の実施	1	2
エ) 住民、学生等のボランティアや実習生の受け入れ	1	2
オ) 地域の会議体への参加によるネットワークづくり	1	2
カ) 車両の空き等を活かした移動支援等の活動	1	2
キ) 事業所内の空きスペースを活用した居場所づくり	1	2
ク) 地域の高齢者等を対象とした昼食会や配食サービス	1	2
ケ) 地域の子育て世帯等に対する相談、子育て講座	1	2
コ) 地域行事への参加	1	2
サ) 住民、ボランティアとの情報交換	1	2
シ) 地域の防災訓練への参加	1	2
ス) 寄付金等の金銭的な支援	1	2
セ) その他 ()	1	2

問● 貴事業所では、地域との連携を図るために、どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 町会・自治会に加入している
2 町会・自治会等の総会に参加している
3 地域のイベントやお祭りに参加している
4 ボランティアを導入している
5 事業所や法人単位で、地域向けの勉強会を主催、共催している
6 事業所のお祭りやイベントに、地域の方を招待している
7 地域の町会・自治会等と防災協定を締結している
8 その他 ()
9 特になし

問● 区全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援はどのようなものですか。また、それらのサービスや支援が足りていない理由は何だと思われますか。

不足していると感じるサービス・支援	
理由など	

問● 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 利用者本人のニーズ把握	2 重症心身障害者の増加
3 利用者家族の高齢化	4 地域移行支援の認知度
5 移行後の利用者の収入確保	6 移行後の住まいの確保
7 福祉サービス事業者への引継ぎ	8 医療機関との連携
9 相談支援機関との連携	10 移行先の地方自治体との連携
11 地域における障害への理解促進	12 その他 ()

問● 地域生活への移行を進める上で工夫していることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 本人への動機づけ	2 家族とのコミュニケーション
3 相談支援専門員との連携	4 医師との連携
5 地域のボランティアとの連携	6 多様な関係機関との調整
7 地域移行支援の申請のタイミング	8 その他 ()

令和4年度 江東区 地域生活に関する調査

このアンケート調査は、令和5年度に予定している「江東区障害者計画、江東区障害福祉計画・障害児福祉計画」策定の基礎資料とするために、実施するものです。

江東区内で活動されている障害福祉や障害者支援、障害児支援に関わる団体様から様々なご意見をお伺いいたしたく、このたび調査票をお送りさせていただきました。

《調査票のご提出について》

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒で、**令和4年●月●日（●）**までにご返送願います。

《調査委託先（調査票の内容に関するお問い合わせ先）》

「江東区地域生活に関する調査」事務局

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：松本、田中

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22

TEL：0120-●●●●-●●●●（フリーダイヤル）

委託元：江東区 福祉部 障害者施策課 施策推進係

〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28

TEL：03-3647-4749 FAX：03-3699-0329

団体の基本情報

団体名			
代表者名			
所在地			
会員数		設立時期	
ご連絡先	ご担当者		
	電話番号		
	FAX 番号		
	メールアドレス		

1 相談・情報提供体制、コミュニケーション支援

問1 区の相談・情報提供体制、コミュニケーション支援に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

2 自立生活支援

問2 区の自立生活支援に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

3 保健・医療

問3 区の保健・医療に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

4 ユニバーサルデザイン、生活環境

問4 区のユニバーサルデザイン、生活環境に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

5 雇用・就労

問5 区の雇用・就労に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

6 地域活動支援

問6 区の地域活動支援に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

7 区民の理解・共感の醸成・促進

問7 区の区民の理解・共感の醸成・促進に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

8 地域生活環境整備

問8 区の地域生活環境整備に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

9 配慮を必要とする子どもに対する教育・療育

問9 区の配慮を必要とする子どもに対する教育・療育に関する施策について、感じておられる課題や改善策がありましたら、お聞かせください。

<hr/>

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒で、令和4年●月●日（●）までに、ご返送をお願い申し上げます。
※切手は不要です。

令和4年度障害者実態調査 調査項目（案）

【障害者】

	No.	設問	令和4年度	
本人の状況	1	年齢		
	2	障害状況		
	3	手帳の種類		
	4	回答者		
	5	世帯の状況		
	6	介助・支援の要否		
	7	通院状況		
	8	医療的ケアの状況		
	9	居宅介護の利用状況		
	10	居宅介護の充足状況		
仕事や学校生活	11	日中の過ごし方		
	12	（就労している場合）困っていること、今後の希望		
	13	（家事・育児をしている場合）困っていること、今後の希望		
	14	（通所している場合）困っていること、今後の希望		
	15	（通学している場合）困っていること、卒業後の進路		
	16	（特に何もしていない場合）その理由、今後の希望	削除	
	17	仕事をしていくために必要なこと		
社会参加やコミュニケーション	18	社会参加、コミュニケーション支援の利用状況		
	19	外出するときに困ること		
	20	社会参加の支援サービスへの要望		
	21	情報を調べる方法	削除	
	22	日常的に利用するコミュニケーション方法	削除	
	23	コミュニケーションで困ること		
	24	コミュニケーションで配慮してほしいこと	削除	
相談先・情報	25	休日の過ごし方		
	26	情報を取得する方法		
	27	困ったときの相談先		
	28	相談しやすくするために必要なこと		
		情報の取得、意思疎通において必要な施策	追加	
サービスの利用	29	利用状況		
	30	サービスの量や質の満足度		
	31	サービス提供事業者に望むこと		
暮らし	32	居住年数		
	33	住宅の形態		
	34	居住支援に対する望むこと		
	35	家計の状況		
	36	今後の希望		
	37	希望する暮らしをするために必要なこと		
			生活費の収入源	追加
			収入額	追加
			世帯収入	追加
		図書館サービスの認知度	追加	
		取り組んでみたい文化芸術活動	追加	

	No.	設問	令和4年度
災害時の支援	38	避難行動要支援者名簿の認知度	
	39	地域の防災訓練への参加希望の有無	
	40	災害時の支援に必要なこと	
	41	災害発生時に困ることや不安なこと	
	42	災害への備えの状況	
障害者施策	43	サービス等利用計画（障害児支援利用計画）の認知度	削除
	44	差別解消法の認知度	
	45	障害者虐待防止センターの認知度	
	46	差別された経験の有無	
	47	差別や虐待を防ぐために必要なこと	
	48	福祉サービスの3年前からの変化	
障害者スポーツ	49	2020オリ・パラ大会の関心度	削除
	50	スポーツ・レクリエーションを行う頻度	
	51	スポーツ・レクリエーションを行う目的	
	52	スポーツ・レクリエーションを行う場所	
	53	スポーツ・レクリエーションを行う上で困ること	
		パラリンピック競技で取り組んでみたいスポーツ	追加
共生社会の実現	54	地域との関わり	
	55	地域に望むこと	削除
	56	知らない人から手助け、配慮を受けた経験の有無	
	57	知らない人に手助け、配慮をお願いできるか	削除
	58	共生社会の実現に必要なこと	
	59	ヘルプマークの認知度	
	60	ヘルプマークが役に立つ場面	削除
		成年後見制度、日常生活自立支援の認知度	追加
	公園で不便に感じる事	追加	
自由意見	61	自由意見	
介護者	62	主たる介護者の続柄、年齢、1日の介護時間	
	63	サービス等利用計画（障害児支援利用計画）の認知度	削除
	64	差別解消法の認知度	
	65	悩みや不安	
	66	長期間介護できなくなった場合の対応	
	67	介護者支援で充実してほしいこと	
		介護者の健康状態	追加
		介護者の勤務形態	追加
		介護者の働き方の調整の有無	追加
		仕事と介護の両立に効果のある勤務先の支援	追加
		今後も働きながら介護を続けられるか	追加
		将来のことで不安に思うこと	追加
		医療的ケアの困りごと、不安に思うこと	追加

	No.	設問	令和4年度
指標		江東区に住み続けたいか	追加
		江東区のくらしはどうか	追加
		日常生活で配慮されていると思うか	追加
		江東区は快適で安全なまちであると思うか	追加
		障害者施策に満足しているか	追加
		3年前と比較して障害者施策は充実したか	追加
		現在どの程度しあわせと感じるか	追加

【変更点】

- ・ 障害種別調査票を1種類の調査票に変更する。
- ・ クロス集計により、障害ごとの分析を行う。

【削除項目】

- 16、21 重複する項目があるため
- 22、24、43、55、57、60、63 計画策定への反映が難しいため
- 49 オリンピック・パラリンピック競技大会終了のため

【障害児】

	No.	設問	令和4年度
本人の状況	1	年齢	
	2	手帳の種類	
	3	発達障害の診断	
	4	発達に関する問題に気づいた年齢	
	5	世帯の状況	
	6	通院状況	
	7	医療的ケアの状況	
		障害の状況	追加
学活・学校生活や	8	日中の過ごし方	
	9	学校生活で困っていること、卒業後の進路	
	10	将来仕事をしていくために必要なこと	
社会参加やコミュニケーション	11	社会参加の支援の利用状況	
	12	社会参加の支援サービスへの要望	
	13	情報を調べる方法	削除
	14	日常的なコミュニケーションで心配なこと	
	15	日常的なコミュニケーションで配慮してほしいこと	削除
	16	休日の過ごし方	
		社会参加や余暇活動で困ること	追加
相談先・情報	17	情報を取得する方法	
	18	困ったときの相談先	
	19	相談しやすくするために必要なこと	
			情報の取得、意思疎通において必要な施策
サービスの利用	20	利用状況	
	21	サービスの量や質の満足度	
	22	サービス提供事業者に望むこと	
暮らし	23	居住年数	
	24	住宅の形態	
	25	家計の状況	
	26	将来自立した生活を送るために必要なこと	
			世帯収入
		図書館サービスの認知度	追加
		取り組んでみたい文化芸術活動	追加
災害時の支援	27	避難行動要支援者名簿の認知度	
	28	地域の防災訓練への参加希望の有無	
	29	災害時の支援に必要なこと	
	30	災害発生時に困ることや不安なこと	
	31	災害への備えの状況	
障害者施策	32	サービス等利用計画（障害児支援利用計画）の認知度	削除
	33	差別解消法の認知度	
	34	障害者虐待防止センターの認知度	
	35	差別された経験の有無	
	36	差別や虐待を防ぐために必要なこと	
	37	福祉サービスの3年前からの変化	

	No.	設問	令和4年度
障害者スポーツ	38	2020オリ・パラ大会の関心度	削除
	39	スポーツ・レクリエーションを行う頻度	
	40	スポーツ・レクリエーションを行う目的	
	41	スポーツ・レクリエーションを行う場所	
	42	スポーツ・レクリエーションを行う上で困ること	
			パラリンピック競技で取り組んでみたいスポーツ
共生社会の実現	43	地域との関わり	
	44	地域に望むこと	削除
	45	知らない人から手助け、配慮を受けた経験の有無	
	46	知らない人に手助け、配慮をお願いできるか	削除
	47	共生社会の実現に必要なこと	
	48	ヘルプマークの認知度	
	49	ヘルプマークが役に立つ場面	削除
		公園で不便に感じる事	追加
自由意見	50	自由意見	
介護者		介護者の健康状態	追加
		介護者の勤務形態	追加
		介護者の働き方の調整の有無	追加
		仕事と介護の両立に効果のある勤務先の支援	追加
		今後も働きながら介護を続けられるか	追加
		お子さんが18歳になったときの希望	追加
		将来のことで不安に思うこと	追加
		医療的ケアの困りごと、不安に思うこと	追加
指標		江東区に住み続けたいか	追加
		江東区のくらしはどうか	追加
		日常生活で配慮されていると思うか	追加
		江東区は快適で安全なまちであると思うか	追加
		障害者施策に満足しているか	追加
		3年前と比較して障害者施策は充実したか	追加
		現在どの程度しあわせと感じるか	追加

【削除項目】

- 13 重複する質問があるため
- 15、32、44、46、49 計画策定への反映が難しいため
- 38 オリンピック・パラリンピック終了のため

【事業者】

	No.	設問	令和4年度
事業所	1	経営主体	
	2	職員数	
	3	指定を受けているサービス	
	4	介護保険サービス指定の有無	
	5	開業年	
サービスの提供	6	サービス利用人数	
	7	提供しているサービスの量・提供可能な量	
	8	サービスを提供するうえでの課題	
	9	受けている苦情や相談	
	10	スタッフの質の向上、人材育成で取り組んでいること	
	11	サービスの質の向上で取り組んでいること、取り組みたいこと	
	12	支援を拡充した分野	
	13	知識やスキルを拡充したい分野	
事業所運営	14	障害福祉サービスと介護保険サービスのどちらを主としているか	
	15	障害福祉サービスと介護保険サービスの収入割合	
	16	事業所運営上の課題	
	17	人材確保の取り組み	
	18	今年度の収支見込	
	19	今年度と昨年度の収支状況の比較	
	20	収支向上や改善に向けた考え	
	21	今後3年間で事業拡大・新規参入を考えているサービス	
	22	事業拡大・新規参入する上で課題となること	
	23	事業拡大・新規参入する上で区に求める取り組み	
	24	職員の充足度、不足している理由	
	25	虐待防止の取り組み	
	26	災害対策の取り組み	
加改処 算善遇	27	平成30年度の処遇改善加算申請の有無	削除
	28	処遇改善加算申請をしなかった理由	削除
自由意見	29	自由意見	
		職員による利用者への虐待やハラスメントを防止する工夫	追加
		利用者による職員への暴力やハラスメントを防止する工夫	追加
		地域との関わりで行っていること、これから行えること	追加
		地域との連携を図るために行っていること	追加
		連携している関係機関・団体	追加
		連携を強化するために必要なこと	追加
		共生型サービスを実施するにあたり求める支援	追加
		区全体で不足するサービス、支援とその理由	追加
		地域移行を進めるうえでの課題	追加
		地域移行を進めるうえで工夫していること	追加

【削除項目】

16、21 計画策定への反映が難しいため

【団体】

No.	令和元年度	No.	令和4年度
1	住まい	1	相談・情報提供体制、コミュニケーション支援
2	福祉サービス	2	自立生活支援
3	就労	3	保健・医療
4	保健・医療	4	ユニバーサルデザイン、生活環境
5	保育・教育	5	雇用・就労
6	生活環境（バリアフリー）	6	地域活動支援
7	経済的状況（利用者負担）	7	区民の理解・共感の醸成・促進
8	理解と交流	8	地域生活環境整備
9	相談支援・情報提供体制	9	配慮を必要とするこどもに対する教育・療育
10	その他（区への要望等）		

今後の区の取り組みについて

1. 基幹相談支援センターについて

(1) 現状・課題

- 区では障害福祉計画において、相談支援体制の充実・強化に向け、令和5年度までに設置を目指すこととしている。

- 地域自立支援協議会の各部会から、以下の提言が出ているところ。
 - ・基幹相談支援センターを設置するとともに、長期入院患者の地域移行、地域定着を進めるため、一般相談支援事業所の強化に努める。(精神部会)
 - ・基幹相談支援センターにおいてはコーディネータ機能、スーパーバイザー機能を踏まえて、相談事項のデータ化、事業所支援、人材育成など大きな意味で地域づくりをしていく。(地域生活支援部会)
 - ・関係機関、団体等による地域ネットワークを構築し、円滑な連携を図る仕組みづくりを進められたい。(権利擁護部会)

- 「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて」社会保障審議会障害者部会報告書(案)令和4年6月(以下「国報告書」という。)では、以下の意見が出ているところ。
 - ・住民がどこに相談してよいかわからない場合は市町村又は基幹相談支援センターが担うことを基本とすることを改めて明確化し、周知すべき。
 - ・基幹相談支援センターが地域における相談支援体制の中核的な役割を確実に果たすため、特に実施すべき業務内容を地域の相談支援体制強化の取組(特に管内相談支援事業所の後方支援やスーパーバイズ等による支援者支援、支援内容の検証)及び地域づくりと整理した上で、障害者総合支援法において、基幹相談支援センターが実施する業務として明確化すべき。

(2) 今後の方向性

- 23区の状況や上記意見等を踏まえて、主に基幹相談支援センターの「保有すべき機能」、「設置場所」、「運営形態及び人員体制」などについて検討を行い、11月をめどに素案をまとめて、書面にて提示する。

2. 障害者福祉センターについて

(1) 現状・課題

- 障害者福祉センターは、身体障害者を中心に、心身障害者(児)の複合的施設として昭和58年に開設して以降、現在は障害者総合支援法に基づく生活介護、就労継続支援B型、特定相談支援、地域活動支援センター事業のほか独自事業を展開し、区の障害者施策の中核的な施設となっている。
- 平成18年4月以降、指定管理者制度を導入したが、現在、公募により指定管理者の選定作業を行っており、10月中に新たな指定管理者が決定する予定である。
- 開設から40年以上経過し、施設の老朽化に伴い、令和6年から令和7年にかけて大規模改修を計画しているところ。

(2) 今後の方向性

- 指定管理者変更、大規模改修工事という大きな転換期を迎えるにあたり、今後、障害者福祉センターの役割や機能充実・強化を検討し、11月をめどに素案をまとめて、書面にて提示する。

3. 児童発達支援センターについて

(1) 現状・課題

- 児童福祉法等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）が6月に公布され、令和6年4月1日から施行することとしている。
- 改正法の中に、主に未就学の障害児の発達支援を行う「児童発達支援センター」の役割・機能の強化が盛り込まれた。主な内容は以下のとおり。
 - ・児童発達支援センターが、地域における障害児支援の中核的役割を担うことを明確化。（中核的役割として明確化する具体的な役割・機能のイメージ）
 - ①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能
 - ②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能
 - ③地域のインクルージョン推進の中核としての機能
 - ④地域の障害児の発達支援の入口としての相談機能

(2) 今後の方向性

- 区の子童発達支援センターである、こども発達センター・こども発達扇橋センターについて、改正法の趣旨を踏まえて、役割・機能強化の方向性を検討していく。

4. 意思疎通支援について

(1) 現状・課題

○区では、令和2年4月に手話言語・意思疎通促進条例を制定して以降、手話通訳者派遣事業に加え、コミュニケーションハンドブックの作成、ヒアリンググループの設置などの施策を推進してきた。

○令和3年7月、公共インフラとして電話リレーサービスが提供を開始した。

○令和4年5月、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行され、全ての障害者が、円滑に意思疎通を図ることができるようにするとの基本理念のもと、地方公共団体は意思疎通に係る施策を策定し、実施する責務を有するものとされた。

○国報告書では、以下の意見が出ているところ。

- ・意思疎通支援事業等は地域生活支援事業として地域特性に応じて実施されている一方で、支援が必要な者に対して十分なサービスが行き届いていないとの指摘がある。
- ・遠隔手話サービスなど、ICT技術を活用した意思疎通支援の促進や円滑化を図る必要がある。

(2) 今後の方向性

○上記状況を踏まえて、区として意思疎通支援の促進に向けた取組をさらに進めていく。

○今年度に予定している、障害者実態調査（団体ヒアリング等）を活用してはどうか。

5. 重度障害者向けグループホームの整備について

(1) 現状・課題

○障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された「日中サービス支援型グループホーム」は、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

○区では日中サービス支援型グループホームの整備を進めるため、現在、整備・運営事業者公募に向けた市場調査（サウンディング）を実施し、整備の方向性を決定する前段階で、民間事業者と直接対話を行い、事業スキームを構築する際の参考とするほか、当該事業の価値や効果を最大限に高めるための公募条件等の検討を行っている。

(2) 今後の方向性

○重度障害者向けグループホームの整備を促進するため、市場調査の結果も踏まえて、支援策の検討を行っていく。

令和4年度 障害者計画等推進協議会委員 名簿

団体・法人名称	役職	氏名
ルーテル学院大学 総合人間学部	教授	高山 由美子
江東区医師会	理事	野木村 一郎
江東区身体障害者福祉団体連合会	会長	高橋 久子
江東区視覚障害者福祉協会	推進担当	中山 利恵子
江東区聴覚障害者協会	総務部長	郷 芳昭
江東区手をつなぐ親の会	会長	会田 久雄
おあしす福祉会	理事長	平松 謙一
江東区難病団体連絡会	会長	橋本 実千代
富岡地区連合町会	会長	鈴木 邦夫
民生・児童委員協議会	障がい福祉部会 会長	葛西 早苗
江東ボランティア連絡会	会長	宮崎 英則
江東区社会福祉協議会	事務局長	伊東 直樹
訪問介護・障害者(児)支援事業所 カレッジケア	代表取締役	高館 麻貴
江東区医師会 訪問看護ステーション	所長	原田 博美
ゆめグループ福祉会	理事	中村 幸江
江東区東砂福祉園	園長	中村 保夫
のびのび福祉会	理事	保田 雄司
江東楓の会	理事長	伊藤 善彦
特定非営利法人 こどもの発達療育研究所	理事長	田村 満子
木場公共職業安定所	専門援助第二部門 統括職業指導官	橋本 貴幸
株式会社メロフルール	取締役	長澤 祐介
ALSOKビジネスサポート株式会社	代表取締役	松風 幸二
区民委員		杉田 啓之
区民委員		加藤 弘美

令和4年度 障害者計画等推進協議会

庁内委員・庁内委員幹事 名簿

庁内委員		
委員長	障害福祉部長	岩 井 健
委員	政策経営部長	長 尾 潔
	総務部長	綾 部 吉 行
	地域振興部長	堀 田 誠
	福祉部長	武 越 信 昭
	保健所長	北 村 淳 子
	こども未来部長	油 井 教 子
	都市整備部長	炭 谷 元 章
	土木部長	杉 田 幸 子
	教育委員会事務局次長	杉 村 勝 利

庁内委員幹事		
幹事長	障害者施策課長	大 江 英 樹
幹 事	企画課長	大 塚 尚 史
	計画推進担当課長	高 須 英 輔
	財政課長	保 谷 俊 幸
	防災課長	岩 田 勉
	スポーツ振興課長	岩 崎 裕 之
	福祉課長	山 崎 岳
	長寿応援課長	小 林 愛
	地域ケア推進課長	宮 澤 裕 司
	介護保険課長	鈴 木 賢
	障害者支援課長	佐 久 間 俊 育
	健康推進課長	千 泥 功 夫
	保健予防課長	吉 川 秀 夫
	こども家庭支援課長	鳥 谷 部 森 夫
	保育計画課長	西 野 こ ず え
	保育課長	鳥 井 将 弘
	まちづくり推進課長	工 藤 章 弘
交通対策課長	加 藤 章 子	
教育支援課長	守 屋 光 輝	

令和3年度 第2回江東区障害者計画等推進協議会で寄せられた意見について

No.	資料番号 ・ページ	意見内容	回答	担当課
1	資料1 13ページ	実態調査報告書概要版の9. 障害者施策について 難病等の患者で対象となる疾病のある方は障害者手帳を持っていなくても障害福祉サービスを利用できることの認知は、「知らなかった」が92.8%とあるが、その後、区民向けの難病患者向け障害福祉サービスに関する広報等を行っているのか。	難病患者に対する障害福祉サービスに関する広報等は、保健相談所において、難病の相談や申請を受けた際にリーフレットをお渡しし、障害福祉サービスなど様々な事業をご案内しております。	障害者支援課
2	資料1 20ページ	実態調査報告書概要版の障害者団体の主な意見について 「65歳になり障害福祉サービスが介護サービスの対象になった際、自己負担が1割発生することが問題になる」とあるが、65歳になったからと言っても障害が変わる訳ではなく、自己負担だけが増えることについては、私も疑問に思っている。	障害者総合支援法第7条に基づき、障害福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合、介護保険サービスの利用が優先されます。また、障害福祉サービスの利用者負担上限額は、介護保険制度の利用者負担上限額より低く設定されているため、障害福祉サービスから介護保険サービスの対象に移ると利用者の負担が増えてしまいます。	障害者支援課
3	資料1 16ページ	実態調査報告書概要版の12. 介護者について 短期入所や緊急一時、レスパイトのニーズが高いと感じている。葬儀や介護者の急病など緊急時でも預かってもらえないことが多く、レスパイトはホテルの予約のようにとらないといけないのが現状である。レスパイトが定期的に利用できれば介護者が精神的、体力的に追い詰められることが少なくなり、虐待防止にもつながる。 近郊の短期入所やレスパイトの整備、斡旋は重要かつ早急な対応が必要な課題である。 塩浜2丁目の入所施設の短期入所が6名で十分なのか疑問である。	区としても障害者が在宅で生活するうえで、短期入所は重要なサービスであると認識しており、令和5年4月開設予定の入所施設に6床確保したところです。貴重なご意見として今後の施策に生かしてまいります。	障害者施設整備担当課

令和3年度 第2回江東区障害者計画等推進協議会で寄せられた意見について

No.	資料番号 ・ページ	意見内容	回答	担当課
4	資料2 4ページ	<p>障害者文化芸術活動支援事業について 美術だけではなく、施設に向いてリトミックや音楽療法の活動をする団体へ補助したり、声を出しても立ち歩いても入退場自由やコンサート（管弦楽、吹奏楽、オペラ、バレエ等）を開催するなど、障害者も文化的な生活ができるような施策が必要だと考える。</p>	<p>美術講師派遣以外の障害者による文化芸術活動の支援については、字幕や音声ガイド、手話等での説明による提供の促進や障害の特性に応じた鑑賞しやすい環境の整備など都や他自治体の動向を注視し、研究してまいります。</p>	<p>障害者 施策 推進係 施策課</p>
5	-	<p>区内初の障害者入所施設ができることは大変喜ばしいことと思う。待ち望んでいた方も多くいらっしゃると思う。利用者の応募がどれくらいいたか、どのような基準で施設入所者が決まったかを後日情報提供いただきたい。利用者の負担額なども決まり次第教えていただきたい。 関連部署は待ち望んでいた障害者のために尽力いただきたい。</p>	<p>利用決定状況や負担額等についてはあらためてご報告いたします。</p>	<p>障害者 施設 整備 担当 施策課</p>